

このまちの100年

「小金井」

南部に国分寺崖線(ハケ)が通り、豊かな湧水・黄金井が転じて小金井になったともいわれます。江戸時代に玉川上水が開削され兩岸に桜が植えられると、小金井桜として名所になりました。



大正期

武蔵野開発のために創建された小金井神社



大正期

玉川上水の堤は江戸時代から花見の名所として有名だった



昭和10年代

戦時下、小金井町の小学校における防空演習の風景



昭和15年頃

戦前の小金井大緑地には国民練成所が設置されていた



昭和15年頃

小金井大緑地は勤労報国隊によって造成された。写真は整地作業の様子



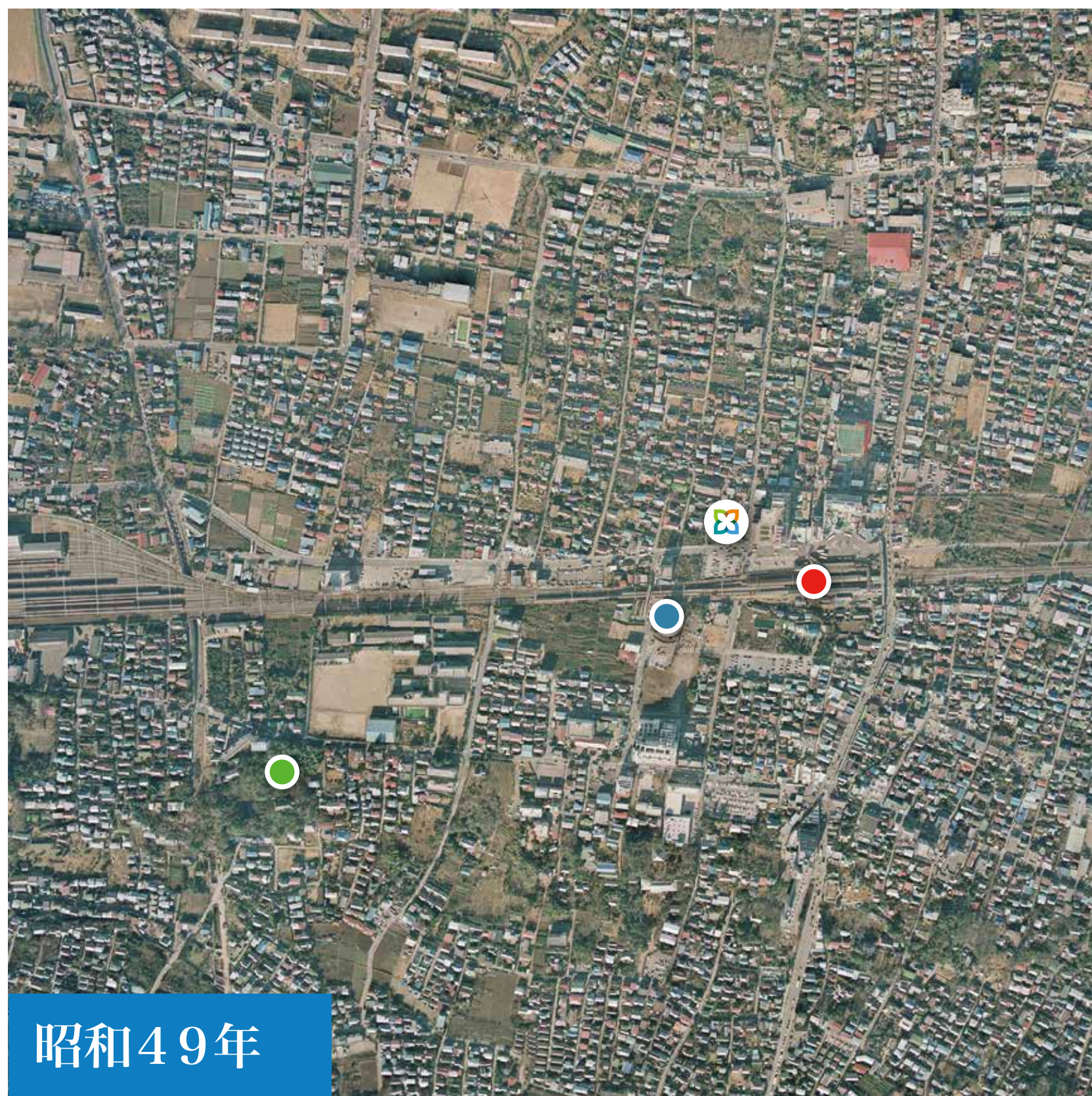
令和3年

小金井大緑地を前身とする小金井公園。桜の名所としても人気がある

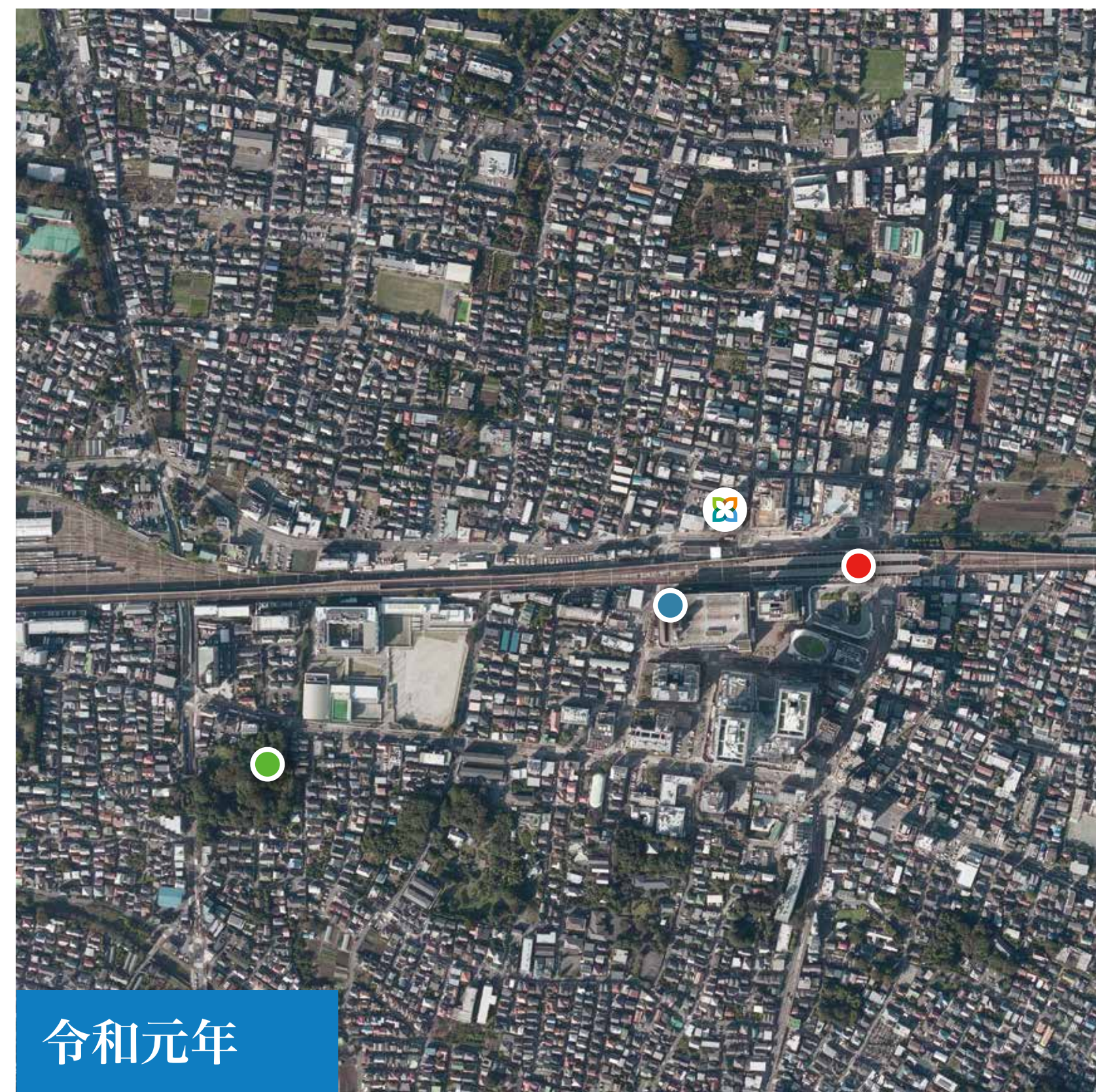
上空からみた小金井エリア



昭和22年



昭和49年



令和元年

●：現在地
●：小金井市公会堂／イトーヨーカドー 武蔵小金井店 ●：滄浪泉園 ●：武蔵小金井駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロモチ